

Ⅲ 基準ごとの自己評価

基準 1 短期大学の目的

(1) 観点ごとの分析

観点 1-1-①: 短期大学の目的(学科又は専攻課程の目的を含む。)が、明確に定められ、その目的が、学校教育法第 108 条に規定された、短期大学一般に求められる目的から外れるものでないか。

【観点到る状況】

本学の目的は、学則(表 1-1)のとおり定めている。平成 20 年 4 月には、本学の目指す人材育成像に関する目的をより明確にするために、「会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程」を制定し(表 1-2)、大学全体、学科及びコースごとに「教育研究上の目的」を定めている。

表 1-1 会津大学短期大学部学則第 1 条

<p>第 1 条 会津大学短期大学部(以下「本学」という。)は、深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成し、もって地域社会の生活、文化及び産業の向上発展に寄与することを目的とする。</p> <p>2 本学及び各学科の人材の育成に関する目的その他の教育研究上の目的を規定に定め、公表するものとする。</p>

表 1-2 会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程第 2 条

<p>第 2 条 本学には、産業情報学科(経営情報コース、デザイン情報コース)、食物栄養学科及び社会福祉学科を設置し、産業、経営、デザイン、情報、環境、健康、栄養、食品、福祉及び保育などの専門性を有した上で、幅広い教養と高い倫理観に根差した判断力や総合力を有する人材の育成を目指す。</p> <p>また、豊かな人格と自発的な学習意欲を持続させながら行動力と実践力のある人材の育成を目指すとともに、時代の変化、今日的課題に対応できる問題解決能力や創造的展開能力を保有する应用能力のある人材の育成を目指す。</p> <p>加えて、地域社会が抱える問題を解決するため、学部知識や技術の成果を地域社会に還元することを目的とする。</p> <p>2 各学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 産業情報学科には、経営情報コースとデザイン情報コースを配置し、それぞれの視点から今日的課題を見つめ、情報化時代に柔軟に適応できる統合能力を有する人材を育成することを目的とする。</p> <p>ア 経営情報コースでは、経営学、経済学、会計学、情報学の各分野を中心に、体系的な専門教育を実践的に学び、これらの学習を通して、企業に関する問題発見・解決能力、情報の収集を実践的に教授し、企業に関する収集・分析・活用能力、創造的展開力と企画・伝達力を備えた人材を育成することを目的とする。</p> <p>イ デザイン情報コースでは、インターフェイス、インテリア、クラフト、グラフィック、プロダクトの各専門分野を配置し、デザイン及び情報の基礎能力を身につけるとともに、より専門性を深め、情報化時代におけるデザイン活動と歴史・文化・環境などに配慮した、モノ・事のデザインができる能力を備えた人材を育成することを目的とする。</p> <p>(2) 食物栄養学科では、高齢化や生活習慣病が進行する地域社会において健康を守る食の担い手として「食」と「健康」について広く深く専門知識を身につけ、人々がそれぞれのライフスタイルに見合った食生活をするための指導・支援を行うことのできる人材を育成することを目的とする。</p>
--

加えて、健康食品や食の安全・安心などへの関心の高まりと相まって「食」へのニーズが多様化・高度化する現代社会に即応できる高度な専門知識と実践的な技能を備えた人材を育成することを目的とする。

(3) 社会福祉学科では、人間尊重の理念に基づき、生活をさまざまな面からとらえることにより人間社会の中に存在する福祉問題を発見する能力やこれらの問題の根本にある本質を見抜き、解決することのできる基礎的能力と科学的洞察能力を身につけ、地域社会の幅広い分野で社会福祉の向上に寄与できる人材を育成することを目的とする。

【分析結果とその根拠理由】

本学の目的は、学則及び「会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程」に定められており、その内容は学校教育法第 108 条に規定された、短期大学一般に求められる目的に対応したものである。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

観点 1-2-①： 目的が、短期大学の構成員（教職員及び学生）に周知されているとともに、社会に広く公表されているか。

【観点に係る状況】

本学が掲げる目的は、学則（前出表 1-1）、「会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程」（前出表 1-2）、「大学案内」（別冊資料 A、P1）、「学生便覧」（別冊資料 B、P5）などを通じて本学構成員に周知されている。新入学の学生においては、入学時における 1 年生全体ガイダンス及び 1 年生学科別ガイダンスにおいて「学生便覧」における教育目標として教育目的を項目別に分けて周知を図っている（表 1-3）。

表 1-3 新入生ガイダンス資料（抜粋）

新入生のみなさんへ 平成 22 年 4 月 6 日 新入生全体ガイダンス

学生部長からのメッセージ

1 会津大学短期大学部の教育研究上の目的

最初に本学の教育研究上の目的をお伝えします。読み上げますので、自分がこの目的達成のために在学中の 2 年間で何ができるのかを考えながらよく聞いて下さい。

本学には、産業情報学科（経営情報コース、デザイン情報コース）、食物栄養学科及び社会福祉学科を設置し、産業、経営、デザイン、情報、環境、健康、栄養、食品、福祉及び保育などの専門性を有した上で、幅広い教養と高い倫理観に根差した判断力や総合力を有する人材の育成を目指す。（以下略）

新規採用教員に対しては、採用時に説明している。また、「大学案内」は毎年 6,000 部作成し、オープンキャンパスや入試案内、教員による県内外の高校訪問、各種進学説明会等において配布・説明を行っている（表 1-4）。

なお、本学の目的は、ホームページでも公表（<http://www.jc.u-aizu.ac.jp/01/00.html>）している。

表 1-4 大学案内配布先一覧

配布先	配布数
オープンキャンパス案内・開催時	700
キャンパス見学・高校内進路相談会等	500
高校訪問及び学校長等懇談会等	200
進学説明会等会場用	2,500
資料請求による送付	400
資料請求外部対応	800
その他	900
計	6,000

【分析結果とその根拠理由】

本学の目的は、学則、「大学案内」、「学生便覧」などを通じて構成員に周知するとともに、ホームページを含めた複数の媒体で広く社会に公表している。以上のことから、本観点を満たしていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

学則に定められている目的を、より具体的に「会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程」として定め、各学科の具体的な人材育成像を目標として掲げている。さらに、これに基づいて「大学案内」、ホームページなどの複数の媒体を通じて本学の目的を広く社会に伝えている。

【改善を要する点】

本学の目的が、教職員及び在學生を始め、オープンキャンパス参加者などにどの程度理解されているかを把握するためのアンケート調査などを実施していくことが必要である。

(3) 基準 1 の自己評価の概要

- ・本学の目的は、学則により定められており、その内容は学校教育法第 108 条に規定された、短期大学一般に求められる目的に沿ったものである。また、本学の目指す人材育成像に関する目的について、平成 20 年度に「会津大学短期大学部における教育研究上の目的に関する規程」を定め、本学の目的及び各学科・コースの教育研究上の目的を明確にしている。(観点 1-1-①)
- ・本学の目的は、学則を始め「大学案内」、「学生便覧」などを通じて本学の構成員（教職員及び学生）に周知するとともに、「大学案内」、ホームページなどの広報媒体を通じて広く社会に伝えている。(観点 1-2-①)